



社会福祉
法人

一人ひとりに愛と希望を

九十九里ホーム

第 12 号

平成17年4月30日発行

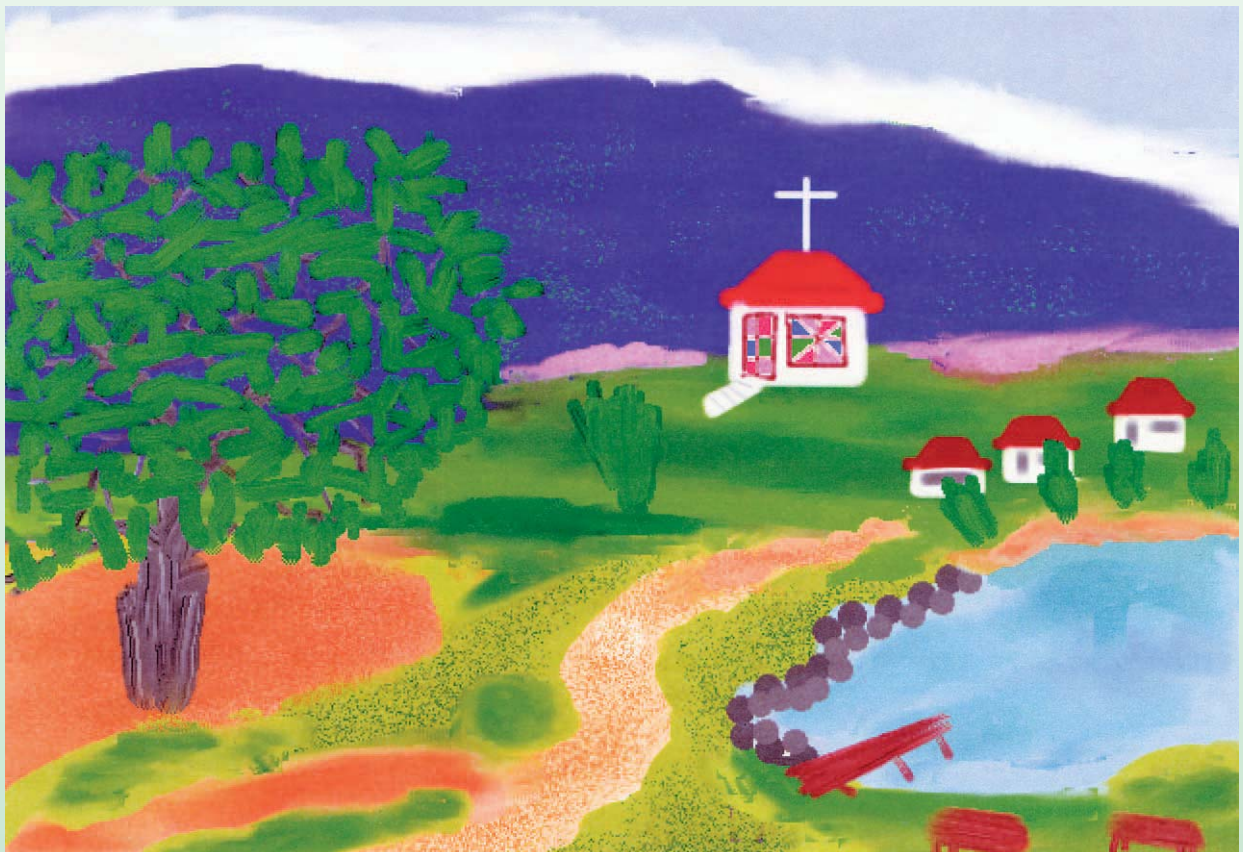
ひとつぶの麦

社会福祉法人
九十九里ホーム

〒289-2147

千葉県八日市場市飯倉21

TEL 0479-72-1131(代)



(聖マーガレットホーム 澤田明江さん)

主はわたしに言われた。

「若者にすぎないと言ってはならない。わたしがあなたを、
だれのところへ遣わそうとも、行ってわたしが命じることをすべて語れ。」

—旧約聖書「エレミヤ書」—

聖マーガレットホームの澤田さんがスティックを口にくわえて描いてくださった絵の風景の中に教会があります。「教会」はもとのギリシア語では「エクレシア」といいます。これはもともと「呼びだされた人々の家」という最初の呼び名からできた言い方です。古代のキリスト教会の人々にとっては外見上の建物より「内なる建物」の方が大切で、しかも自分たちは神様に呼びだされたという自覚がありました。聖書の中にも自分とはとてもその器ではないと思う働きのために神様から呼びだされる人々の話があります。上記のエレミヤもその一人です。しかし、神様がこの働きのために自分を呼びだして下さっていると思いかえすことで、自分の歩みに深い次元が与えられていくのではないのでしょうか。

日本聖公会八日市場聖三一教会牧師 司祭 竹内一也

九十九里ホーム病院に岡崎新院長就任



本年1月より布施院長に替わり、岡崎^{たけゆき}壮之院長が就任いたしました。岡崎新院長が一言就任のご挨拶をいたします。

本年1月から赴任した岡崎です。専門は整形外科・スポーツ医学です。最近の大きな問題として医療事故があります。医療行為そのものは常に危険と隣り合わせです。手術は血管や神経を避けて侵襲しなければならないし、また薬物投与にしても極端に言えば毒物を扱っているのです。処方間違いととんでもないことが起こります。それ故現実には医療事故を皆無にすることは不可能です。しかし、職員一人一人が強い意識を持って医療業務にあたれば限りなく少なくすることは十分に可能です。そのために私は「知ったか振り」をしないという謙虚さが大切であるといつも思っています。

九十九里ホーム病院の役割としては一次・二次の救急医療、地域密着の一般医療、中核病院からの後方支援、診療所との連携による在宅医療支援、訪問看護から始まる介護福祉分野の進出などがあります。近隣の病院からは特にリハビリを中心とした医療を求められています。他の病院との連携と機能分担においても、当院はこのことを一層伸ばしていきたいと思えます。

スポーツドクターとして長年仕事をしてきましたが、現今ほど健康のためにスポーツが必要になってきたことはありません。日本では寝たきりになる原因は、脳卒中が1位で2位が骨折ですが、近い将来には逆転となるでしょう。子供の頃からの遊びのスポーツをす

ると防御反応の会得や骨・筋肉などの強化によって、転んでも骨折を起こさなくなります。大人になっても歩くことを中心とした運動を取り入れると生活習慣病の予防にも多に役立ちます。

スポーツといっても多種多様です。本格的な競技スポーツから遊びに近い子供のスポーツや、中年の美容と健康のため、あるいは障害を持った人達の健康とリハビリとしてのスポーツ、高齢者の寝たきり予防のための運動などさまざまな目的、方法、内容のスポーツがあります。

病気やけがを予防し、より健康を増進し誰もが健やかで実りある日々が過ごせたら最高の幸せだと思います。地域の皆さんに愛される明るく元気な病院を目標に、職員共々より安全で質の高い医療を提供すべく頑張ってまいりますので、今後とも当九十九里ホーム病院をよろしくお願いいたします。

岡崎新院長のプロフィール

主な役職 九十九里ホーム病院院長、日体協スポーツドクター、日本バレーボール協会医事担当長、バレーボールナショナルチームドクター、千葉マリンスタジアム診療所所長

略歴 1969年 千葉大学医学部卒業
1982年 川崎製鉄健康保険組合千葉病院スポーツ整形外科副部長
1984年 同病院整形外科・スポーツ整形外科部長
1998年 同病院副院長
2005年 九十九里ホーム病院院長

専門領域 スポーツ医学・足関節外科・脊椎外科

学会活動 日本整形外科スポーツ医学会評議員
日本臨床スポーツ医学会評議員
スポーツ外傷・障害の診断と治療に関する論文多数、著書「スポーツ整形外科図説」
2006年6月日本整形外科スポーツ医学会会長予定

ご利用者のより満足を目指して

— 九十九里ホーム山田特別養護老人ホームは開設して順調に1周年を迎えました —

平成16年4月1日に開設し、はやいもので1年が経過しました。あっという間の1年でしたが、職員一同、施設の運営方針である「明るい雰囲気、清潔な環境、ゆきとどいた親切」をモットーに努めてまいりました。ショートステイサービスの皆様を含め6つのユニットにより、きめ細かなサービス提供を心がけ、楽しく安心した生活をしていただけるよう日々努力しております。70名の入所者の皆様・10床のショートステイサービスご利用の皆様方は、それぞれの生活のリズムを大切に、自然の多い環境の中、日々おだやかに生活をされています。ご家族の皆様の面会も多く、ご協力いただいています。

地域の皆様からは、庭のお花の手入れや清掃活動、洗濯の手伝い、各種行事への慰問など、さまざまなご協力・ご支援をいただき感謝

しております。今後は、施設側からも積極的に地域の中に出て行く活動などともしたいと思っています。いろいろな活動のなかで、交流を深めていきたいと思っていますので、よろしくお願い致します。

また、健康面を支える上では、九十九里ホーム病院の協力により、週3回の回診や定期的な健康診断を実施し、治療の継続や新たな病気の早期発見・早期治療に取り組んでいます。また、理学療法・作業療法・言語聴覚療法などのリハビリ指導も実施しています。九十九里ホーム山田特別養護老人ホームは、近隣の医療機関への距離があるというリスクはありますが、このように同法人との連携により、安心した生活が継続できるよう努めております。

開設から1年が過ぎ、やっと1年生を卒業したばかりです。今後も、職員一同初心を忘れず、入所者の皆様に安心して生活していただけるよう、サービス向上に努めていきたいと思っています。



正月のおとそ配り



クリスマスのキャンドルサービス



お誕生日会

より良い在宅ケアのお手伝いをいたします

—九十九里ホームの3ヶ所のデイサービスセンターのご紹介—

九十九里ホームデイサービスセンター

九十九里ホームデイサービスセンターは、昭和63年6月より八日市場市の委託事業として開始され、平成12年4月には介護事業指定サービス事業所になり現在に至っています。

一日の利用定員数：45名

サービス提供地域：八日市場市・野栄町・光町

サービス提供日時：月～土 9：30～16：00

祝祭日営業

(日曜日と1/1・2・3は、お休み)



運営方針：「ご利用者の社会的孤立感の解消および心身の機能の維持、並びにご利用者のご家族の身体的・精神的負担の軽減を図るものとする」
この事を踏まえ入浴・機能訓練・送迎・食事のサービスを提供しています。

行事：お花見ドライブ・敬老会・クリスマス会や、毎月おやつ作りなども行っています。

：介護者の方に参加していただく「ふれあいシニア講座」も協賛しています。

当事業所は、九十九里ホーム病院の南側に位置し、同敷地内には、特別養護老人ホーム「松丘園」・老人保健施設「ミス・ヘンテ記



念ケアセンター」・居宅介護支援事業所・ヘルパーステーション・訪問看護ステーションがあります。このように各種のサービスが九十九里ホーム内にあることで、連携のとれたより良いサービスがご利用者に提供できると思われま。

ご利用者やご家族から信頼をして頂くために連絡を密に取り合い、その方にあったサービスの提供を行っていただけるよう職員一同努力をしていきたいと思ひます。



第二松丘園デイサービスセンター

平成9年4月1日、特別養護老人ホーム第二松丘園の併設施設として開園しました。

当初は、光町・野栄町・横芝町三町の委託事業としてご利用者数4～5名からのスタートでした。平成12年介護保険制度が導入され5年が過ぎ、現在実人数で約130名、1日あたり28～29名のご利用者数となりました。定期的に行う季節行事や自主生活活動(手工芸・書道・将棋・ひばりの会・フラワーアレンジメント)及び、機能訓練(レクリエーション・リハビリテーション等)などさまざまなメニューを工夫して、取り組んでおります。

在宅重視とされます介護保険制度の中で、サービスの質の向上を心がけ、利用者が安全に楽しく、満足して利用していただけるよう、また一人一人のご利用者がその人らしい生活を実現していくために、自立支援を目標に進

めていきたいと考えております。

写真は自主生活活動の中の書道・将棋クラブの活動です。



九十九里ホーム 山田デイサービスセンター

九十九里ホーム 山田デイサービスセンターは、平成11年10月山田町からの委託事業として九十九里ホームの施設としては初めて、海匝地区から離れ、香取郡の地で単独型のデイサービスセンターとして開設致しました。

その後、平成12年4月より介護保険制度が始まり、他市町からのご利用者も受け入れるようになりました。平成16年4月には、特別養護老人ホームがオープンし、併設型のデイサービスセンターとして改めてスタート致しました。また、山田町からの委託事業として現在、身体障害者の方が1名利用されています。

一日の利用定員数：25名

サービス提供地域：香取郡(山田町・干潟町・小見川町・多古町)・八日市場市

サービス提供日時：月～土 9:00～15:45
※日曜日と正月1/1・2・3は、お休み

事業所の運営方針：「明るい雰囲気」「清潔な環境」「行き届いた親切」の実践を基に各種サー

ビス(送迎/入浴/食事/機能訓練)を実施しています。

行事：バスハイク、各種施設内行事を月1回開催予定

ご利用者も徐々に増加し、一人一人のサービスに対するニーズも多様化してきました。当センターでは、アンケートを定期的に行いサービスの質の向上を図るよう努めたいと考えております。

また、毎月1回センターからご利用者や家族へお便りとして「山田デイだより」を作成し情報を発信しています。これからもご利用者一人一人にあったサービスの提供を目指していきたいと思っております。



● ふれあいギャラリー開催

「ふれあいギャラリー」も今年で12回目を迎えることができました。この「ふれあいギャラリー」も始めは法人内施設行事の一つとして、入所者や利用者の方々の交流や生活の充実を図るという目的のもと始まりました。各施設で行なっているレクリエーションや作品作りをどう理解してもらったら良いか、また、入所者・利用者の一人一人を皆様に良く知ってもらうためにはどうしたら良いのか、各施設のレクリエーションの担当者や入所者・利用者の方々、ボランティアの皆様の意見の中から生まれました。発足当時は名称も「法人内作品展」となっており、作品の数も百数点の規模のものでしたが、今年は出展作品も約300点にも増え、出展場所も八日市場市公民館を含め8ヶ所（法人内各施設）を2ヶ月かけてまわり展示する大規模なものとなりました。また、今年から山田特別養護老人ホームも参加することとなり、他の地域の方々にも「ふれあいギャラリー」を知ってもらえるようになりました。今年も多くの子供からお年寄りまで幅広い年齢層の方々が楽しく見学されました。そして見学者の多くが作品に対しての感想を書いて下さいました。その感想を

読んで地域の方々が施設の入所者や利用者の方々を少しでも理解して頂けていることを実感しました。今後もこの「ふれあいギャラリー」を通して、より多くの方々に施設の入所者や利用者の方々への理解を深めて頂けるようにしていきたいと思えます。



寄贈品の報告

「NHK歳末たすけあい赤い羽根共同募金」より第二松丘園でビデオカメラ1台、DVDビデオレコーダー1台を頂きました。また、山田特別養護老人ホームでポータブルアンプ1台、ワイヤレスマイクロホン2本を頂きました。どちらもご利用者の笑顔のため、各種行事や日々のレクリエーション等で有意義に使用しています。関係者の皆様、まことに有難うございました。



総合防災対策強化事業への取り組み

養護老人ホーム瑞穂園

地域の防災拠点としての体制作りを進める瑞穂園では、非常時に野外で大量の炊き出しが出来る「野外移動煮炊き釜」を2台整備致しました。

さっそく3月24日の防災訓練では、非常時を想定し、厨房職員のみで釜を組み立て、ガスボンベをセットして、おにぎりと豚汁の炊き出しを行いました。

日々使用している炊飯器は、全て自動で炊



き上がります。しかし、この野外移動煮炊き釜には自動の火力調節機能は無く、火加減が難しいためお焦げを少々作ってしまいました。

多少の失敗はありましたが、初めてにしては上々の成果ではなかったかと思っています。これからも、訓練では度々使用する事になると思いますが、本番での使用は絶対に無い様に願いたいものです。



地域との交流を目指して

—ふれあいシニア講座を実施—

地域リハビリテーションの必要性が叫ばれるようになり、各地域でも様々な取り組みがなされるようになりましたが、当法人でも在宅介護支援センターとデイサービスが中心となり、介護予防教室を開催しています。

平成16年11月には、『調理は痴呆を予防する』平成17年3月には『脳も体も若返るピアダンス』をテーマにし、大勢の方にご参加いただきました。

秋の講座では、山田町の竹蓋ひさ様を講師に迎え、山田町特産の野菜を豊富に使ったオ

リジナル料理を"伝授"していただきました。

春には、参加者の方から「ぜひ体操を」というご要望にお答えし、ピアダンス研究会の池田二美枝先生によるダンスでよい汗を流しました。

介護を受けない体力づくりを目指し、健康増進に役立てる『ふれあいシニア講座』を今後も開催していく予定ですのでさらに大勢の方の参加をお待ちしております。



より安全で質の高いケアをめざす九十九里ホームの取り組み

法人内感染対策委員会等の各種委員会活動

現在、様々な感染症の問題について、多くの病院や施設で対策が検討されています。健康な人にとっては影響のない菌でも、入院している方や高齢者の施設では重篤な症状になることもあります。九十九里ホームでは病院・施設での感染症対策について、月に一度感染対策委員会を開催しています。九十九里ホーム病院の林内科部長が委員長となり、医師・薬剤師・栄養士・事務員等の各職種の代表者と各施設から看護師が出席しています。委員会では、感染症の発生状況・担当者が参加した研修の内容についての報告を行います。また、医師より対策についての指導があります。そして、委員会での報告や資料を担当者が持



ち帰り、各施設で検討し実施していきます。予防の基本として、手洗い・うがい・マスクや手袋を使用することにより、「菌を持ち込まない・持ち出さない・蔓延させない」ことを徹底し、予防対策を全職員が意識できるよう、今後も委員会活動をすすめていきたいと思えます。そして、九十九里ホーム病院・各施設が連携し、感染症の発生を防ぎ、安心して療養生活を送っていただけるように努力していきたいと思えます。

その他、職員向けの各種研修を実施するとともに、病院内には医療安全管理委員会、褥瘡対策委員会等を設置して、より安全で質の高いケアを目指す活動を推進しております。



個人情報保護について

個人情報保護法が、本年4月1日より施行されました。平成16年4月に個人情報に関する基本方針が閣議決定され、それに基づいて厚生労働省が作成したのが、平成16年12月に発表された「医療・介護関係事業者における個人情報の適切な取り扱いのためのガイドライン」です。個人情報保護法の第一条では、「個人情報の有用性に配慮しつつ、個人の権利利益を保護することを目的とする」とあります。個人情報の利用を一方向的に規制するものではなく、個人情報の取り扱いを守るルールを決めたものです。個人情報の取り扱いについては、利用目的を明示し本人に同意を得ること、個人情報を取得する際にも利用目的

を通知する、収集した目的以外に使用しないといったことが必要になってきます。私たちは医療・介護関係事業者として、今後も、個人の人格を尊重し、その情報を適正に取り扱うという責務があります。九十九里ホームでは、職員一人一人が個人情報保護の重要性を十分認識すると共に、個人情報保護方針及び保護規程を策定して、個人情報保護の充実に今後とも努めてまいります。



義 援 金 ・ 募 金 の 報 告

九十九里ホームでは職員に積極的に呼びかけ、義援金と募金活動を実施いたしました。

新潟県中越地震災害義援金

新潟県中越地震災害義援金として602,540円の寄付をさせて頂きました。今後、震災で被害を受けた皆様を忘れることなく、1日でも早く復興されることをお祈り申し上げます。

募 金

「歳末たすけあい募金」に134,352円、「赤い羽根共同募金」に398,500円、寄付させて頂きました。

地域交流

お囃子同好会～成人式であんりゃあどしたい！

晴れやかな天気にもまれた1月9日の八日市場成人式典。その会場にて九十九里ホームお囃子同好会は、富谷囃子連様や関係団体の皆様とともに、お囃子とお神輿で成人の日のお祝いをさせて頂きました。

当日は担ぎ連の威勢のよい掛け声の中、師匠達も駆けつけてくださり雰囲気はまさに祇園祭状態！

希望あふれる若人たちの"あんりゃあどしたい"は、ふるさとの空にいつまでも響いておりました。

お囃子同好会は、皆様に支えられながら今年も元気に明るくがんばります！

{笑門福来} (^0^)



デイサービスを利用しませんか。

聖マーガレットホームでは、在宅で生活している方を支援するサービスとして、身体障害者と介護保険対象者のデイサービスを行っています。

○利用時間：日曜日と1/1・2・3を除く午前10時より午後2時30分まで

○内 容：リハビリ、食事、入浴、送迎の他、レクリエーションや在宅相談など

○送迎区域：八日市場市、光町、野栄町を基本としますが、ご相談に応じます。

○利 用 料：本人の収入や介護度によって異なりますが、週2回のご利用での1ヵ月あたりの利用料は次の通りです。障害者デイ約2,000～4,000円、介護保険デイ(要介護度2の場合)約6,000円。

詳しくは聖マーガレットホーム ☎0479-79-1905までお問い合わせ下さい。また、近所でデイサービスを利用したい方がおられましたら、ぜひご紹介下さい。

担当：宇津木・塚本



送迎：自宅まで送迎いたします。



リハビリ：理学療法士などの指示で個別に対応します。



食事：毎日変化に富んだものを提供します。



入浴：機械を使って入浴することもできます。



レク：みんなで楽しく行きます。

ご利用者の声

○伊藤健彦様

自宅では家族にリハビリをお願いすることができないため、デイサービスでリハビリを中心に行っていただけなのありがたいです。自分の要望を聞いていただけのもうれしいです。また、他の障害者や多くの職員といろいろな会話ができるのも楽しみのひとつです。

○宇井のり子様

入浴を丁寧にやっていただけることが非常にありがたいです。足が不自由となったために、自宅ではシャワーがやっとでした。それも高齢の母にお願いをしていましたので、母も大変でした。ここではゆっくりと入浴することができるので、利用してよかったです。